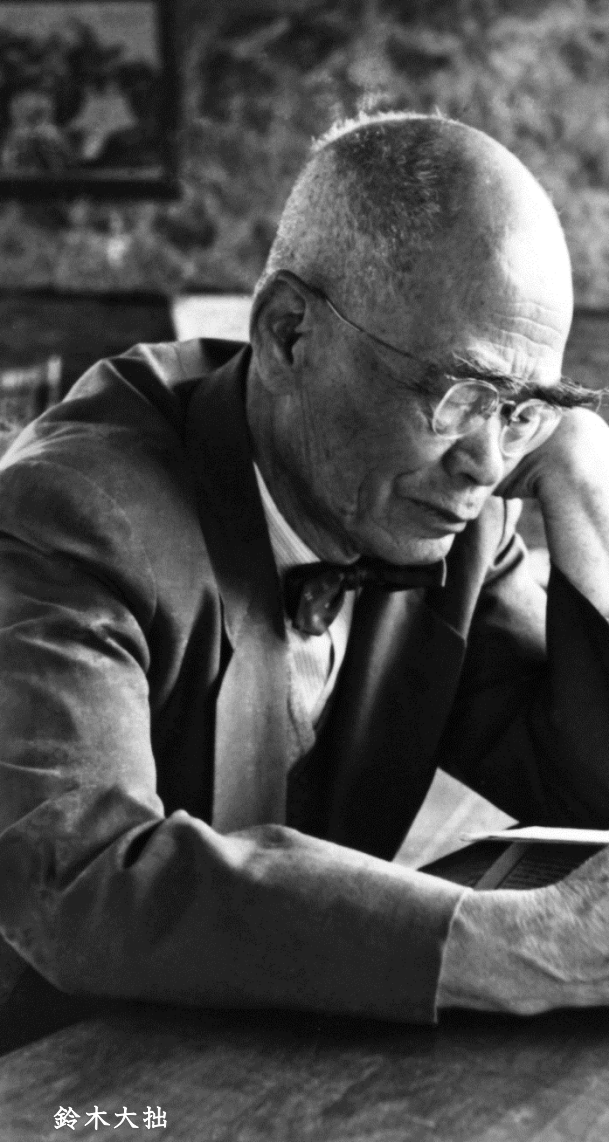
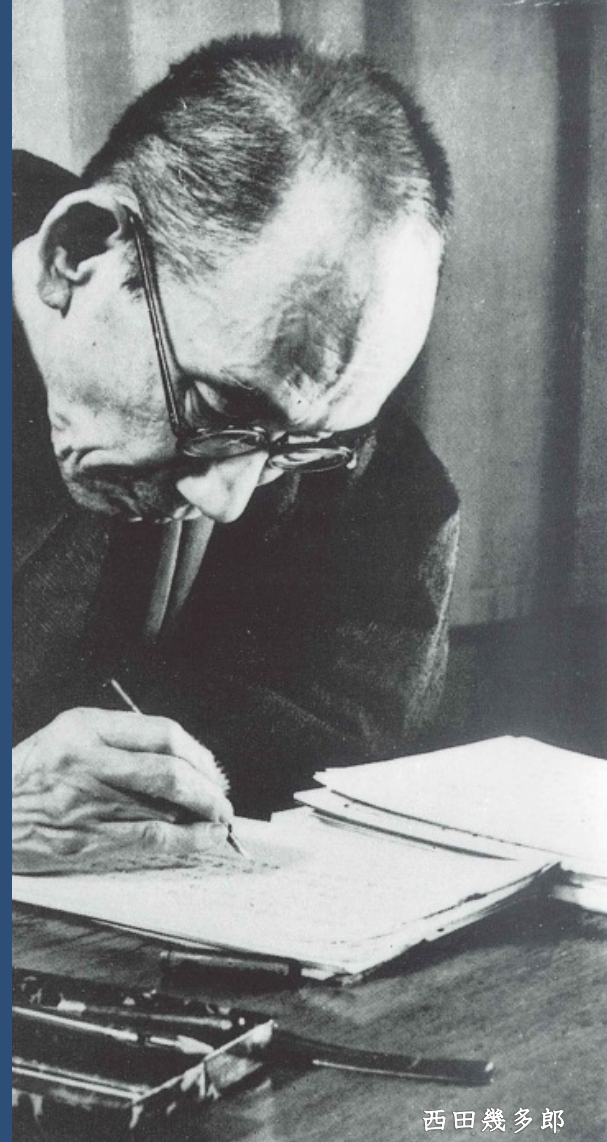


第1回

鈴木大拙・西田幾多郎記念 金沢大学国際賞



鈴木大拙



西田幾多郎

趣意書

鈴木大拙と西田幾多郎は近代日本を代表する哲学者・思想家です。鈴木大拙は禅を中心とした東洋思想を世界に広めることに大きく貢献するとともに、「靈性の自覚」を仏教の核心ととらえ、それを探求し続けました。西田幾多郎は西田哲学とよばれる独創的な哲学体系を確立し、京都学派に代表される多くの研究者を育てました。西田幾多郎は1940年に、鈴木大拙は1949年に、それぞれ文化勲章を受章しています。

鈴木大拙と西田幾多郎は、いずれも石川県に生まれ育ち、第四高等学校の前身である第四高等中学校に学びました。金沢という学都がもつ希有なる思想文化の風土が二人をはぐくんだとも言えるでしょう。西田幾多郎は1899年に第四高等学校の教授に任じられ、およそ10年にわたって教鞭を執りました。金沢大学の前身校の一つが第四高等学校で、四高同窓会は金沢大学学友会に統合され、今日に至っています。

本国際賞は、金沢大学にゆかりをもつ鈴木大拙と西田幾多郎に因み、白井溢氏（昭和39年金沢大学医学部卒業）のご篤志を原資として設けられました。本国際賞の目的は、哲学・思想・宗教を中心とする分野で、国際的に卓越した業績を挙げた研究者を顕彰し、これにより、当該分野の研究の一層の進展を促すとともに、次代を担う若手研究者に対して大きな学問的刺激を与えることです。

関係機関・団体ならびに各位には、本国際賞の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

金沢大学国際賞実行委員会
委員長 山崎光悦

鈴木大拙—西田幾多郎記念
第1回金沢大学国際賞募集要項

このたび、金沢大学国際賞実行委員会（以下「実行委員会」という。）は、金沢大学（旧制第四高等学校）の先輩であり、哲学・思想・宗教の分野で偉業を成し遂げられた鈴木大拙先生と西田幾多郎先生に敬意を表するとともに、この賞の選考を通じて、当該分野において国際的に業績を挙げた研究者の功績を称え、もってグローバル大学としての金沢大学の国際貢献と学術研究のさらなる発展に資することを目的として、以下のとおり「鈴木大拙—西田幾多郎記念 第1回金沢大学国際賞」を募集することといたしました。

対象分野	● 哲学・思想・宗教の各分野
賞の内容	● 本賞：賞状および楯 / 副賞：500万円
授賞者数	● 1名
応募資格	● 哲学・思想・宗教の分野において、国際的に多大な業績を挙げた研究者
応募期間	● 平成29年7月1日（土）～ 平成29年12月15日（金）
授賞者決定および授賞式日時	● (1) 授賞者決定：平成30年3月中旬 (2) 授賞式：平成30年6月8日（金）
応募要領 (自薦、他薦は問いません)	● (1) 提出資料：推薦書[理由書含む]（別紙様式あり）、履歴書、業績書 (2) 提出先：金沢大学国際賞事務局
選考方法	● (1) 実行委員会に金沢大学国際賞選考委員会（以下「選考委員会」という。）を設置し、当該選考委員会の合議により最終候補者を決定する。 (2) 実行委員会は、選考委員会の審査結果に基づき、授賞者を決定する。
実行委員会委員	● 山崎光悦 金沢大学長 白井 溢 医療法人社団明徳会 十全記念病院理事長、院長 柴田正良 金沢大学理事、副学長 森 雅秀 金沢大学人間社会研究域人間科学系教授、学長補佐 山出 保 金沢大学学友会会長、石川県中小企業団体中央会会長 山本 博 金沢大学顧問、公立小松大学学長予定者 有松正洋 金沢大学理事、副学長、事務局長
提出・問い合わせ先 (金沢大学国際賞事務局)	● 住 所：〒920-1192 石川県金沢市角間町 E-mail：award@adm.kanazawa-u.ac.jp 電 話：076-264-5010 FAX：076-234-4010

